

#) サーバリックス（2価ワクチン）とガーダシル（4価ワクチン）
選択に際しての私見（緑井レディースクリニック）

1) サーバリックス（0、1、6ヶ月後の3回注射）

日本では、H23年1月17日（助成開始）より開始した、2価
ワクチン。子宮頸がんに対する予防効果あり。

（グラクソ・スミスクライン社製）

2) ガーダシル（0、2、6ヶ月後の3回注射）

日本では、H23年9月15日（助成開始）に承認された4価ワ
クチン。子宮頸がんに対する予防効果以外に、外陰コンジローマ
や外陰癌、膣癌に対する予防効果もある。（MSD社製）

#) 注射後の抗体産生は、サーバリックスの方が少し高い可能性
があるが、検査法が違っているのでよく分からない。

#) 世界的には、

サーバリックス：ガーダシル = 20：80 と、
ガーダシルのほうが、広く使用されている。

#) 子宮頸がん予防については、どちらを打っても間違いはない。







外陰癌、膣癌、コンジローマなどの予防も希望する人は、ガーダ
シルを、子宮頸がんの予防のみを希望する方はどちらでも良い。

#) 初回どちらかを注射すると途中での変更はできません。

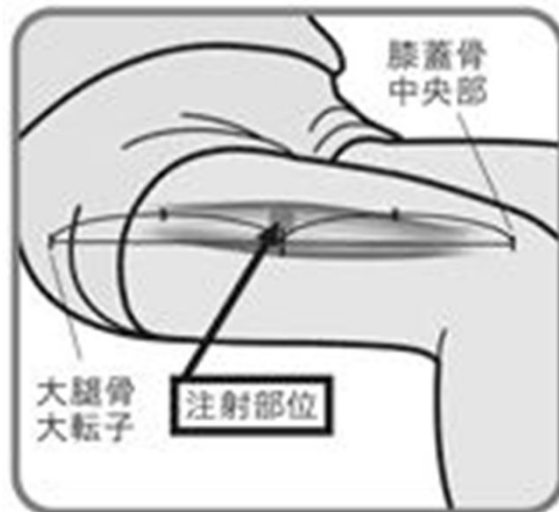
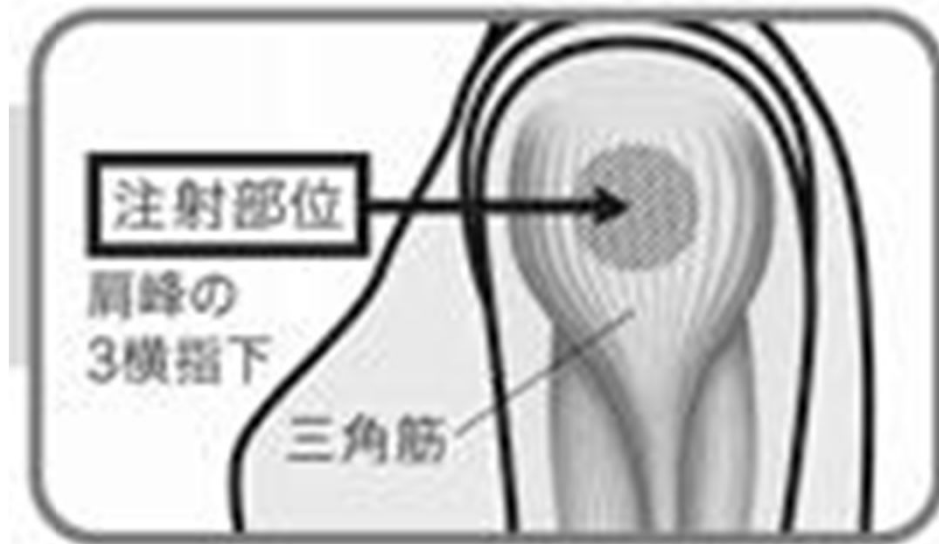
ガーダシルと2価ワクチンの違い

(ガーダシル)

(サーバリックス)

	ガーダシル (MSD)	2価ワクチン
HPV タイプ	   	 
接種スケジュール	0, 2, 6ヶ月目 / 筋注	0, 1, 6ヶ月目 / 筋注
適応年齢	9歳以上の女性	10歳以上の女性
	<p>HPV 6,11,16,18 に関連する疾患の予防</p> <ul style="list-style-type: none"> - 子宮頸がん(扁平上皮細胞癌/腺癌) - 子宮頸がん前がん病変(CIN1) - 子宮頸がん前がん病変(CIN2/3, AIS) - 膣上皮内腫瘍 - 外陰上皮内腫瘍 - 尖圭コンジローマ 	<p>HPV 16,18 に関連する疾患の予防</p> <ul style="list-style-type: none"> - 子宮頸がん(扁平上皮細胞癌/腺癌) - 子宮頸がん前がん病変(CIN2/3)
世界におけるマーケットシェア	80%	20%
アメリカにおけるマーケットシェア	97%	3%

#) 注射部位 (利き腕の反対側の三角筋)



#) 注射部位

ガーダシル → 肩 か 大腿部

サーバリックス → 肩のみ